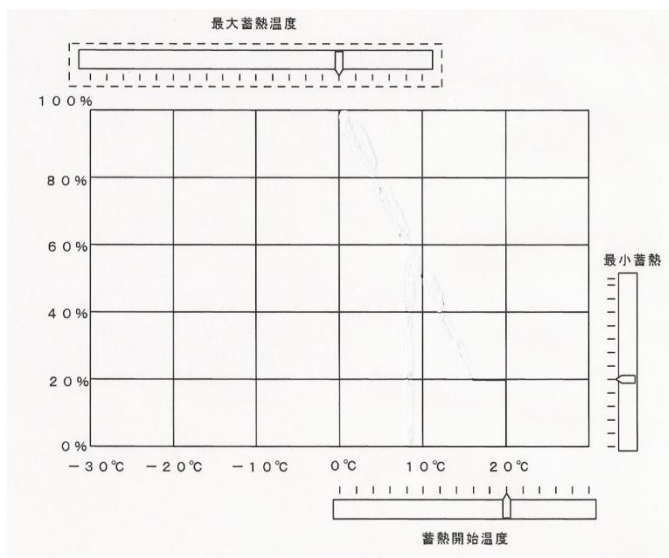


◆蓄熱暖房器は、夜間電力を使って翌日分の熱量を蓄熱体に蓄えます。つまり、翌日の必要な熱量をあらかじめ予想して、使用前日に蓄熱量を決めなければなりません。厳冬期は100%蓄熱でよいのですが、気温の変化が激しい春先や秋口を快適に過ごすためには、毎日のように細かく蓄熱量を設定する必要があります。蓄熱暖房器の操作性、

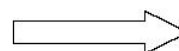
この弱点を克服すべく、AEG蓄熱暖房器は、独自の制御システム『シーズンセンサー』を標準装備しています。

『シーズンセンサー』とは、屋外に設置した温度センサーが外気温を常に計測。その平均気温データをもとに、マイコンと連動して最適な蓄熱量を自動で設定します。



◆快適性を検証しました！

- ①4月10日 早朝1時～5時の外気温0℃
- ②4月10日 午後13時の外気温16℃



室内は19～22℃

- ③4月13日 早朝1時～6時の外気温11～13℃
- ④4月13日 午後12時の外気温30℃



室内は22～23℃

【Aさんのお宅で検証!!】

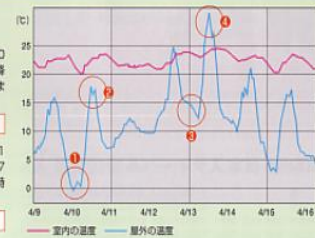
2006年4月9日～16日

4月10日早朝1時～5時に、外気温は0℃前後と冷え込みました(①)。朝6時以降外気温が一気に上昇し、13時には16℃まで上昇しました(②)。しかし、

室内は19～22℃の快適温度!

4月13日早朝1時～6時の外気温は11～13℃と比較的暖かな朝でした(③)。7時以降に外気温が一気に急上昇し、12時には30℃近くの夏日に(④)！しかし、

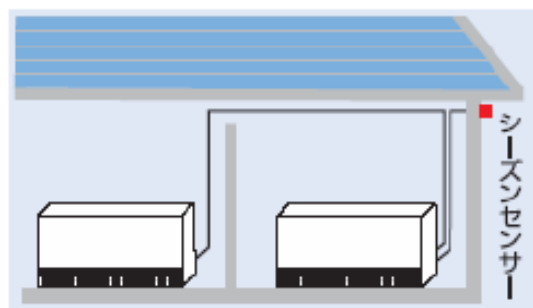
室内は22～23℃の快適温度!



	AEG製 シーズンセンサー付	他社製 シーズンセンサー無し
蓄熱量調整	自動	季節にあわせて手動
電気料金	どんなお客様でも 約10%節約	お客様の使い方に 左右されやすい

特長1

◆自動制御だから、面倒な蓄熱量調整が必要ありません！



温熱環境と 経済性を考えた お利口さん!!

特長2

◆自動制御だから、無駄な蓄熱もなくなり、電気料金も節約！

比べて、ナットク!!
シーズンセンサー採用で約10%の
省マナー!!

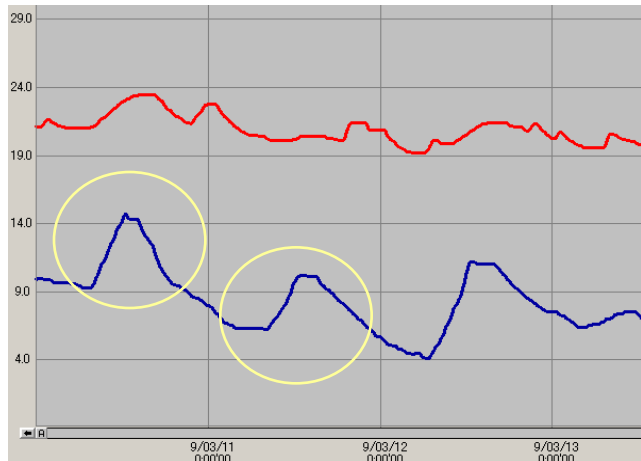
5KWタイプ
※当社基準アークに準じた算出

	1月の暖房代		通年の暖房代	
	シーズンセンサー付	シーズンセンサー無し	シーズンセンサー付	シーズンセンサー無し
電気代	5,263円 (770kwh)	5,848円 (855kwh)	21,676円 (3,169kwh)	24,084円 (3,521kwh)
	585円も おトク!!		2,408円も おトク!!	

測定ポイント その1

前日が暖かく、当日が寒くても、お部屋の温度はほぼ一定。

■リビング部分暖房(WSP-600TEJ設置)

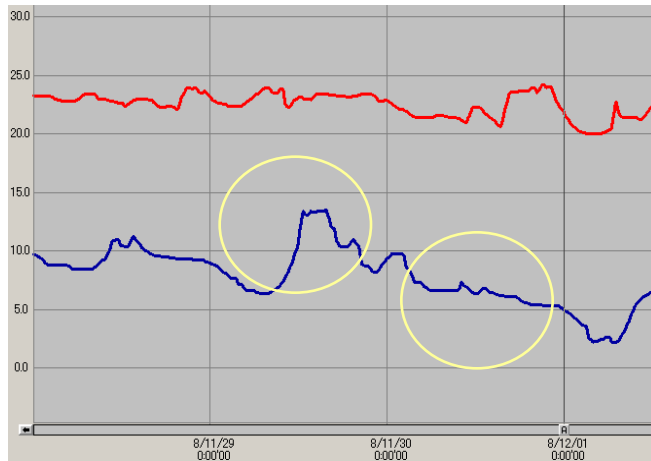


■名古屋市内Y邸 09年3月10日～3月13日午前

■シーズンセンサーの設定

外気温度(24時間平均)20°Cで蓄熱開始、10°Cで最大蓄熱

■リビング部分暖房(WSP-500TEJ設置)



■金沢市内I邸 08年11月28日～12月1日午前

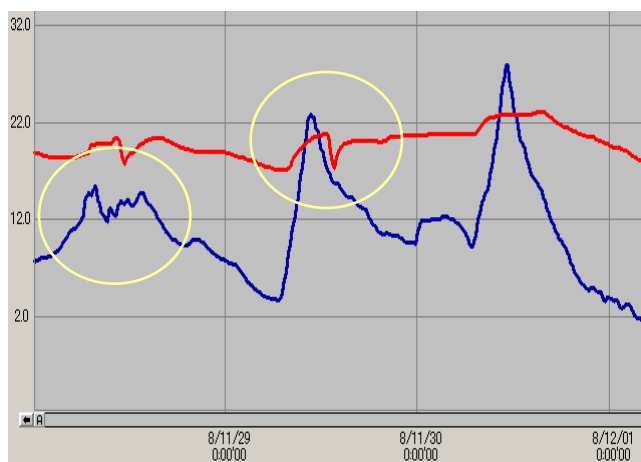
■シーズンセンサーの設定

外気温度(24時間平均)20°Cで蓄熱開始、10°Cで最大蓄熱

測定ポイント その2

前日が寒く、当日が暖かくても、お部屋の温度はほぼ一定。

■リビング部分暖房(WSP-600TEJ設置)



■千葉市内A邸 08年11月28日～12月1日午前

■シーズンセンサーの設定

外気温度(24時間平均)20°Cで蓄熱開始、10°Cで最大蓄熱